

令和5年度 上郷地区・末野原地区 わくわく事業 活動報告書

令和6年3月作成

○ 「わくわく事業」とは

地域の団体や市民活動団体などが実施する、住みやすい地域づくりのために取り組む事業に対し、補助金を交付する仕組みです。

この「わくわく事業 活動報告書」は、令和5年度に活動した上郷地区10団体、末野原地区10団体の2月時点の活動報告をまとめたものです。ぜひ、活動を知っていただき、地域ぐるみで応援をお願いします。

○ 活動団体

	団体名	ページ
上郷地区	緑野の会	1
上郷地区	畝部まちづくりの会	3
上郷地区	せせらぎ遊歩道愛護会	5
上郷地区	上和会花くらぶ	7
上郷地区	家下川リバーキーパーズ	9
上郷地区	川田まちづくり	11
上郷地区	きらく会	13
上郷地区	キッズプランナー	15
上郷地区	わくわく情報局ぼらりん	17
上郷地区	高嶺まちづくりの会	19
末野原地区	元気の出る森づくりの会	21
末野原地区	渡刈町サポート会	23
末野原地区	豊栄町一区自治区 区誌編纂委員会	25
末野原地区	おしかも ほたるの会	27
末野原地区	竹の会	29
末野原地区	ふるさと訪問末野原の会	31
末野原地区	豊栄町一区自治区まちづくりの会	33
末野原地区	永覚新町お助け隊	35
末野原地区	実りの会	37
末野原地区	宗心洞公園を守る会	39

令和5年度 わくわく事業活動報告

団体名	緑野の会
事業名	①三河上郷駅前広場美化事業並びに②うねべ里山事業
会員数	22人(実働17人) 主要な活動場所 三河上郷駅前広場・うねべ里山
事業費(補助額)	180,000円 (162,000円)
【主な用途】	①花苗代金1,400p(総額の70%)、肥料(4%)、②刈払機用替刃・混合油(7%)、その他共用(茶、ごみ袋、事務用品、ボランティア保険)19%
事業目的	「豊かな自然環境が心豊かな人を育てる」を基調に、地域の環境保全に勤める。この活動を通して会員の生き甲斐作りを目指すと共に地域社会に貢献する。
主な活動内容	① <三河上郷駅前広場美化事業> 平成14年度から継続22年間。 <u>基本的活動</u> ・年2回(5/19、10/20)花苗植え付け作業 合計1,400p ・毎月第3金曜日AM7:00~(12月~2月は8:00~)除草作業(年12回 延べ196人) ② <うねべ里山事業> 平成18年度~継続18年間。(年8回 延べ116人) <u>基本的活動</u> ・冬季10月、12月、1月、3月を除き、毎月第1水曜日AM7:00~(1時間~3時間)下草刈り、竹林整備、枯れ枝収集作業、遊歩道の保全作業、用水土手の除草作業。※2月のみ8:00~ ・6月、9月に全廃棄物撤去作業。
活動の成果	① <三河上郷駅前広場美化事業> 上郷地区の顔である駅前広場の花壇造成を行い、21年間市民に癒しの空間を造成して提供してきた。この活動を通して、駅の利用者や市民にたいして、美化意識の向上とボランティア活動への理解度を深めることに役立てたと感じる。また、当会が広場の冬季の安心安全を目的に始めた電飾事業は別に実行委員会を設立して事業を継承した。上郷地域の冬の風物詩として今年度18回を迎え好評である。 ② <うねべ里山事業> 隣接する柳川瀬公園との一体感が生まれ、多くのウォーキング愛好者からも喜ばれている。自然林らしい落ち着きと四季を感じさせる好ましい里山になった。里山中ほどに有る未整備個人管理エリアの地権者にもご協力をへて、除草をしていただき景観も改善された。
課題	会員数の維持増加と若い世代会員を発掘と組織の改編である。22年継続されているこの会も過去2年で新会員も加わり活動に幅ができ、さらに今後の会の存続を考え、役員一部の交代を図り会の運営の引継ぎなどに取り組んだ。全会員の活気あふれる活動と活動に対する地域の方々の景観改善に対する暖かいお言葉に充実感を感じている。
今後の取組	三河上郷駅前花壇の花苗、肥料などの値上がりなどを考え、経費を抑えつつ景観を損なうことのない花壇づくりと、うねべ里山の枯渴した樹木の処理や柵や入り口階段などの経年劣化による要補修箇所を確認し、継続的に手入れ補修していく。

緑野の会（環境保全ボランティアグループ）活動紹介

令和5年度 三河上郷駅前広場美化事業の活動記録



令和5年度 うねべ里山整備事業の活動記録



《問い合わせ》 川上 博 0565-21-1483

わくわく事業活動報告

団体名 畝部まちづくりの会	
事業名 畝部まちづくりの事業	
会員数 40名	主な活動場所 畝部地区内
事業費(補助額) 941,754円 (847,000円) 【主な使途】 畝部フェスタの開催費、活動時の保険料	
事業目的 安全で安心な町づくりを推進する。 1. 防災・交通安全上の課題摘出と、地域との共有化、行政への提言を行う。 2. 疎遠に成りがちな地域の人々の、交流の機会をもうける。 3. 区長会と定期的な連絡会を開き地域との連携・共有化を図る。	
主な活動内容 ①上中通学路(川田～家下川)の交通量調査と、自転車走行枠の拡大・白ラインの再塗装化活動による安全化 ②上中通学路の除草作業：区長、副区長、PTA役員、教頭、中学生ボランティア70名 ③畝部フェスタの開催による交流機会の提供。 マレット大会：100名 フェスタ：1,200名 ④防災研修会の開催：マイタイムライン 会員と、自治区自主防災役員他(約100人) ⑤区長会と地域課題等の協議会：1回/3ヶ月	
活動の成果 ①全事業を無事故で開催できた。 ②全事業の地域の方の参加者は、約1,430名 ③上中通学路の白ライン塗装が申請通り完成した。	
課題 会員の高齢化と新会員の頭打ち。	
今後の取組 会員の人脈で、一般ボランティアの協力を得る。	

活動の様子

上中通学路の除草



マレット大会



県道239の不法投棄物回収



敵部 フェスタ



わくわく事業活動報告

団体名	せせらぎ遊歩道愛護会		
事業名	新矢作緑道環境美化事業		
会員数	38名	主な活動場所	新矢作緑道（畝部西町地内）
事業費(補助額)	631,560円（568,000円）		
【主な使途】	物置更新、剪定道具、除草剤、花の苗、肥料、お茶、保険料、		
事業目的	<p>豊田市が行う委託管理のみでは行き届かない為、新矢作緑道の除草、低木の剪定、せせらぎの清掃及び花壇の維持管理を行い、緑を守り育てることにより都市景観の向上を目指すとともに、地域住民の良好な居住環境を維持し、散策・ウォーキングなどの身近なレクリエーションの場を提供することで、より良い地域づくりに貢献する。</p>		
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑道の除草、せせらぎの排水口の清掃 ・ 花や植栽による環境美化 ・ 交通安全に配慮した道路環境の整備 		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境美化及び保全を目的とした活動をすることにより、地域住民の環境保全に対する意識の向上を図ることができた。 ・ 良好な住環境の構築が図られ、地域への関心及び愛着が高まり、より良いまちづくりへの関心を高めることができた。 ・ 環境美化・景観保全活動によって、地域住民の交流が図られるとともに、とりわけ高齢者の地域への参加・貢献意識が醸成された。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度も住環境、景観保全維持に努め、自治区とも連携し活動を行い、組編成をして役割分担し個人負担の軽減を図る活動計画を立て実施したが、自治区内の他の行事とも重なり調整に苦慮をした。 ・ 会員も高齢化し脱会者もある状況下で、募集はしているがなかなか応募者がいない。 		
今後の取組	<p>これまで築き上げてきた景観と環境保全の維持・向上を図るため、また高齢者の生きがいや交流の場として継続的に活動していきたい。</p>		

活動の様子

花壇の植付け(女性部)



花壇の片付け



樹木剪定(参加者)



樹木の剪定



除草剤の散布



せせらぎ遊歩道清掃



活動メンバー



わくわく事業活動報告

団体名		上和会花くらぶ	
事業名		上和会上屋敷交差点環境美化	
会員数	15名	主な活動場所	上和会上屋敷交差点角の空き地
事業費(補助額)		63,300円 (56,000円)	
【主な使途】 培養土、肥料、消毒薬、除草剤			
事業目的 <ul style="list-style-type: none"> ・ 上和会上屋敷交差点の一角を花で飾り、景観をよくする。 ・ 四季を通じて花壇の管理をすることにより、地域住民との交流を深める。 ・ 地域住民や交差点を通るドライバーの心を和ませる。 			
主な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏の花の種まきから育苗。(4月～5月) ・ 春の花を抜いてから土作り、そして夏の花の植え付け。(5月～6月) ・ 翌年春の花の、種まきから育苗。(9月～10月) ・ 夏の花を抜いてから土作り、そして翌年春の花の植え付け。(10月～11月) ・ 一年を通じて、毎日花の手入れと水やり。 ・ 一年を通じて、敷地に植えてある花木の手入れ、敷地の草取り。 			
活動の成果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 上和会上屋敷交差点の一角を、ほぼ年間を通じて花壇の花で飾ることができた。 ・ 交差点を通るドライバーや歩行者に癒しを感じて頂けたと思う。 ・ 上和会自治区のウォーキングイベントのウォーキングコースに花壇を入れて頂き、地域との交流が深まった。 ・ 豊田市民花壇コンテスト」に応募し、上位入賞ができた。 			
課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 種から発芽させ丈夫な苗を育てるための、水と温度管理が難しい。 ・ 安易に考えていた、会員補充が思う様に進まない。 ・ 花壇枠修理用の材木が、安価に入手出来なくなった。 			
今後の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助額を減らすため花の苗を購入ではなく、種まきから苗を作る方法を今後も続ける。 ・ 豊田市民花壇コンテスト」への応募を続ける。 			

活動の様子



【4月8日春花壇審査前の手入れ作業。結果は2位】



【4月29日夏花壇用種まき作業】



【5月21日幼苗をポットへ移植】



【6月19日花壇へ移植後9日目の様子】



【7月16日手入れと除草】

- 8月4日夏花壇審査日の花壇。
一位入賞出来ました。



わくわく事業活動報告

団体名 家下川リバーキーパーズ	
事業名 地域の川で遊ぼう、生き物のすむ川を作ろう	
会員数 8名	主な活動場所 上郷地区 家下川ほか
事業費(補助額) 88,000円 (80,000円)	
【主な使途】調査消耗品(網類、エアープンプなど)、燃料費 ほか	
事業目的 ①生物の生息に適した具体的な川作りの方法を、河川管理者や関係機関と協働し家下川流域の豊かな環境を次世代に繋げる。 ②親子を対象とした川遊びイベントを通し、自然と親しみ「ふるさと意識」の芽を育てることで地元の自然の魅力を発信する。 ③生物調査や整備作業を定期的実施し、水辺の環境状態を正しく把握し関係機関と共有することで課題解決を図る。	
主な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・中大排水路魚道(昨年度整備場所)での生物調査(10回) ・家下川ヨシの刈取り、草刈り作業(2回) ・国交省、水循環法フォローアップ委員会の先進事例視察への対応(2回) ・畝部小学校 生き物観察会(9月3日) ・うねべフェスタでの水槽展示(11月4日) ・中大排水路での工事前生物調査(12月3日) ・家下川浚渫工事(県事業)への助言・連携(8月～3月) 	
活動の成果 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に整備した中大排水路の魚道の利用調査では、希少種をはじめ19種の利用が確認され、流域の生物多様性保全に効果を発揮していることが確認できた。 ・長期的な課題となっている家下川のヨシの繁茂と陸地化について、愛知県と連携して浚渫計画を検討するとともに、今年度実施を行った(現在工事实施中)。 ・体験学習や水槽展示を通して、地域の住民が地域の水辺と親しむ機会を提供した。 ・豊田土地改良区と連携し、中大排水路で生物の生息可能な水路への整備工事を実施した。 	
課題 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より愛知県と連携して行っている家下川浚渫について、規模が大きいことから全面での改善を図ることが難しい。今後も県と連携して効果的な方法を検討したい。 ・これまで川遊び体験を行ってきた矢作川について、今年度の台風の影響で子どもが安全に遊べる場がなくなってしまった。参加者も多いイベントであることから、次年度以降の開催方法について検討を行っていききたい。 	
今後の取組 <p>次年度は、豊田土地改良区と連携して整備を行っている中大排水路について、整備効果を検証していく予定である。</p> <p>また、本活動は先進事例として国や他の自治体から視察や整備方法の引用がされるようになってきている。今後も積極的に成果を発信や関係機関との連携を行い、流域全体の自然環境・生物多様性の保全に寄与できるようにしていきたい。</p>	

活動の様子

◇川遊び体験、水槽展示（畝部小土曜学級、うねベフェスタ）



◇家下川でのヨシの刈取り、草刈り作業

ヨシの刈取りや草刈りを定期的に行い、安全に川遊びできるように遊び場の維持整備を行った。現在、愛知県と連携して河川内の浚渫工事を実施している。



ヨシの刈取り作業



家下川浚渫工事（県と連携）

◇中大排水路での生物調査

昨年度に整備した魚道では絶滅危惧種をはじめとする19種もの生物が利用しており、設置効果の高さを確認できた。また、今年度に豊田土地改良区が実施する水路整備に先立ち調査を行い、今後の効果検証のための基礎的な記録を得ることができた。



調査中



魚道を上った魚（24時間）



令和5年度 わくわく事業活動報告

団体名	川田まちづくり		
事業名	柳川瀬緑道美化事業		
会員数	19 名	主な活動場所	柳川瀬緑道歩道周囲
事業費(補助額)	456,147 円 (410,000 円)		
	【主な用途】 燃料・培養土・肥料・花苗・防草シート・固まる土等の購入		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柳川瀬緑道周囲の美化を向上させて <li style="padding-left: 40px;">潤いのある安全で安心なまちづくりに寄与する。 		
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑道周囲の草刈・除草(草を生い茂らさない活動) ・ 季節の花植栽管理(基本 2回/年) 芝サクラ植え替え・補植 ・ 歩道の清掃(1回/月)・せせらぎ除草(2回/年) ・ 草が生えない対策(固まる土・防草シート施工) 		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑道周囲が綺麗になることで歩行者の方でゴミ・吸い殻のポイ捨てが少なくなりました。(不法投棄パトロール実施) ・ 花を育てることで高齢者の方も生きがいを感じて下さっています。(散策される皆さんからの『ありがとうございます』が励みになります) 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢となり腰を曲げての長時間の植栽作業が大変でした。 ・ 草の生い茂りが早く草刈作業は高齢者には過酷でした。 		
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花壇の世話・草刈作業を継承頂ける方を地域外を含め発掘。 ・ 草刈作業も最新の電動化草刈機を導入して作業時間の短縮化を図る。 		

活動の場所 ※ 柳川瀬緑道遊歩道周囲



緑道周囲花壇の手入れ

個人で植栽

土の手入れ



花苗づくり



腰を曲げての植栽は座りこんで作業



歩道沿いモグラ被害対策作業風景 完成



道路側除草作業は危険のためアゼ板で草生え防止

芝サクラロード整備

土が道路に流出



完成



真夏の草刈・剪定作業はキツイです



団体名	きらく会		
事業名	地域と高齢者の活性化事業		
会員数	10名	主な活動場所	上中島地域
事業費（補助額）	64,100円（57,000円）		
【主な用途】	花の種・耕起作業		
事業目的	<p>① 休耕田を利用した花畑を地域住民の集いの場としての活用し、家にこもりがちな高齢者の外出を促進する。</p> <p>② 過去活動していた交流の場「喜楽会」がなくなり、コロナ渦で住民同士の交流の場が減ってしまったので、住民同士の繋がりを作る。</p> <p>③ 花を見て地域が明るくなる喜びを分かち合う。</p>		
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会で、いつ花の種を蒔くか、現状把握をしながら会員の意思確認と実行予定日の確認の場とした。（4月・7月・9月・11月・12月・2月） ・コスモスの種まき（8/5）・なのはなの種まき（9/23） ・ボランティアの方の耕起作業（8/1・9/21・11/13・12/7・1/9） ・かかし作り（10/6） ・地域のお手伝いを兼ねたコスモス畑の見学と子供達のシャボン玉遊び設定（10/14） ・コスモスの種取り（11月～） ・菜の花を囲んでの茶話会（12/17）・菜の花の種取り（2/3日～） 		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・会員が高齢者である為、この会に参加したことで日頃会わない方とも会話が進み、楽しい時間となった。しかし地域全体の呼びかけは難しかった。 ・自治区と協力して地域行事の際にコスモス鑑賞を同時開催し、住民同士の交流の場になった。 ・コスモス畑では子供たちは遊び、地域外からは、花が欲しいとの要望があったり、写真を撮ったり、小学校、子ども園、施設からの見学、住民の散歩など暖かく、ほほえましい姿があった。 ・種の高騰から会員の声で、コスモスの種取りをして、SDGsに取り組んだ。（個人の自由時間） ・菜の花を囲んでの茶話会は、寒い時期なので、菜の花を飾り定例会にした ・ひまわりネットの「ひまわりの種を蒔き育てる」というプロジェクトに参加した。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コスモス、菜の花の種が計画時より高騰していて、畑全部に蒔くことが出来なかった。そこで今回は畑に空間を作り、遊び場にしたり、かかしで笑いを作ったりして工夫することになったが、今後も工夫は必要だろう。 ・菜の花鑑賞は寒い時期なので、各自が散歩途中で楽しんで下さればいいと考えている。 		
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・休耕田が違い、広くなるので耕作面積を考え、花の種の購入量を考える。 ・地域行事と合同で行った事はよかったので、次年度もやっていきたい。 ・来年度は会員が高齢者の為、無理なく参加できる企画を考える時間とする。 		

きらく会活動写真

コスモス



8月1日に、種まきを行いました



案山子の設置



自治区住民のふれあいの場、こども園園児の遊び場、お祭りの寄り道等で楽しみました。

なのはな



9月23日「なのはな」の種まき



12月に満開になりました

会議の様子



定例会と菜の花茶会



ひまわりネットに参加

わくわく事業活動報告

団体名	キッズプランナー		
事業名	みんなであそぼう！たのしもう！（みんなで子育て事業）		
会員数	15名	主な活動場所	上郷交流館・畝部小学校・柳川瀬子どもつどいの広場
事業費(補助額)	350,000円 (315,000円)		
【主な使途】	<ul style="list-style-type: none"> ・親子遊びイベント、親支援講座、小学生居場所づくり講座等報償費 ・行事保険等保険料 ・チラシ用コピー用紙等消耗品費 		
事業目的	<p>「子どもの健全育成を図る」・「子育て支援・親支援」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①子育て親子の交流の場の提供及び交流の促進 ②地域を巻き込み、つながりを持ちながら子育てできる環境づくりや世代間交流の促進（地域のつながり・子育て力の強化） ③同じ境遇の子育て親子の育児ストレスや不安を解消できる環境づくり（親支援） ④家に閉じこもりがちな子育て親子の呼び込み ⑤園児・小学生の講座開催や居場所づくりによる健全育成 		
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・親子イベントの開催（人形劇・コンサート・親子遊びの会など） ・親支援事業（共通の課題を持つ親同士の交流、情報交換） ・園児・小学生の講座開催による子どもの健全育成 ・地域とつながり、世代間交流会の開催（地域の居場所づくり） ・ボランティアの育成 		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・親子イベントを定期的で開催することにより、毎月30組～40組親子の参加があった。リピーターも多く、また初めての参加も多かった。地域の同世代の親子がふれあえる場のニーズを感じた。（孤立や育児不安解消、親・子の仲間づくり） ・親支援では、共通の課題を持つ親子の少人数（10組程度）の交流により、情報や悩みの共有ができ、専門的な知識の習得や前向きな育児や親同士・子ども同士のふれあいにつながった。 ・コロナ禍で希薄になっていたつながりが、戻ってきていることを実感できた。 ・小学生の居場所づくりでは、地元の小学校が会場という安心感もあり、1～6年生まで幅広い参加があった。地域講師との交流も図れたり、子ども同士で協力する姿が見られたりした。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化やコロナの影響が残るなか、親子の孤立の防止や育児ストレスの解消を図れる活動を工夫し行うこと（同年齢の子を持つ親・子ども同士の交流、育児情報の提供、育児相談など）の必要性。 ・コロナ後の子どもの活動の場所の減少や体力低下など、地域課題解消への取組みの必要性。 ・子育て親子や小学生だけでなく、多世代が安心して繋がれる居場所の必要性。 		
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健全育成と共に、親支援にも力を入れ、地域課題である親子の孤立や子育ての不安の解消となるような活動の強化。 ・園児・小学生の講座開催による健全育成や地域とつながり、世代間交流会の会の開催の工夫（地域で子どもたちを見守る場所づくり、環境づくり）。 ・地域への情報発信の方法、地元との繋がり工夫。 ・地域課題解決のためのSDGsの取組み。 		

活動の様子



親子向けイベントの開催 @上郷交流館

令和4年 5/12 6/9 7/14 8/26 9/8 10/13 11/10 12/8
 令和5年 1/12 2/9 3/8(予定)



親支援 @柳川瀬子どもつどいの広場

令和4年 4/13 5/11 6/3 6/8 7/13 8/10 9/14 10/12 11/9
 12/12 12/14
 令和5年 1/9 1/11 2/8 3/14(予定)



小学生・地域の居場所づくり @畝部小学校

令和3年 4/22 5/13 6/17 7/15 8/21 9/2 10/28 11/18 12/9
 令和4年 1/13 2/23(予定) 3/2(予定)

わくわく事業活動報告

団体名	わくわく情報局ぼらりん		
事業名	ボランティアと地域をつなぐ情報発信事業		
会員数	12名	主な活動場所	上郷
事業費(補助額)	126,640円 (126,000円)		
【主な使途】	印刷製本代、切手代、施設使用料、文房具など		
事業目的	<p>◆上郷地区の様々な住民がボランティア活動に関して「発信しやすい」「受け取りやすい」「参加しやすい」ボランティア意識の高い地域となるよう下記の目的達成を目指す。</p> <p>◇ボランティア活動者等の情報や活動内容等の情報を集約して発信することで、今までより地域住民が身近な地域のボランティア活動者等の情報や活動内容を知る機会を増やす。→地域住民のボランティア活動への積極的な参加につながる。</p> <p>◇ボランティア活動者が協力し、共に情報発信（紙媒体と公式LINE）を行う。 →交流の機会の増加や活動の活性化を目指す。</p>		
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公式LINE（SNS）の発信者・登録者を増やす活動。 ・毎月の定例会で公式LINE（SNS）を利用した情報発信方法の勉強会。 ・上郷GOGOフェスティバルにて、ボランティア活動団体の紹介と公式LINE（SNS）お友達登録者数を増やす活動。 ・ボランティア活動団体紹介冊子の作成と各所（170施設）への配布。 		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・公式LINE（SNS）お友達登録者数 現在 26人。 ・公式LINE（SNS）を利用してボランティア活動団体の活動情報を発信できた。 ・ボランティア活動団体紹介冊子の作成・配布で各所にボランティア活動団体情報の発信ができた。（紙媒体） 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・当初目標としていた公式LINE（SNS）有料プランレベルのお友達登録者数を増やすことが、できなかつたので広報活動を充実させる。 ・情報発信側（ボランティア活動団体）の公式LINE操作方法をレベルアップさせる。 		
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度も公式LINE（SNS）無料プランを利用し、ボランティア活動団体情報を発信していく。 ・2か月に1回程度の割合で定例会を開催し、公式LINE（SNS）の情報発信操作方を勉強していく。 ・地域開催のイベントでわくわく情報局ぼらりん広報活動と公式LINE（SNS）お友達登録数を増やす活動を継続する。 		

活動の様子

公式 LINE 画面



フェスティバル展示



公式 LINE 発信操作勉強会

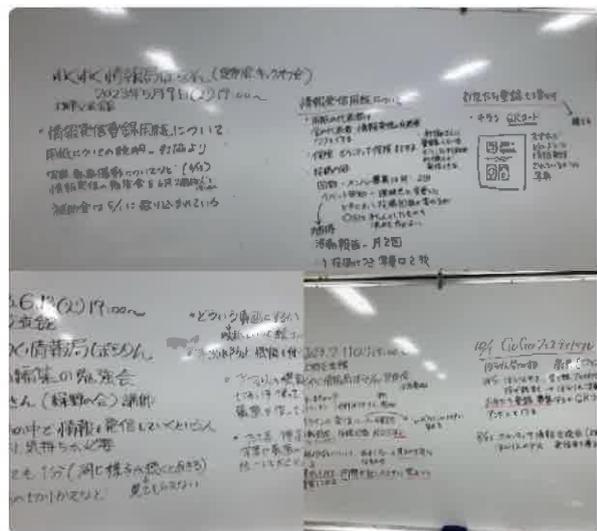
冊子→



鈴木さんが丁寧に教えていただきました



公式 LINE お友達募集チラシ



2023 定例会議事録

7



わくわく事業活動報告

団体名		高嶺まちづくりの会
事業名		たかねふるさとまつり
会員数	10名	主な活動場所 高嶺小学校 及び そばの花栽培地
事業費(補助額)	452,058円(406,000円)	
【主な使途】	米づくり体験と高嶺ルビー栽培	
事業目的 <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学生(5年生)に米づくり体験をさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業(米づくり)の大変さ及び大切さを実体験で教える。 ○ 「高嶺ルビー」 地元の人々に赤いソバの花を知ってもらう。 		
主な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 田植え、稲刈りも実際に手を使う作業を体験させる 一年間の学びを学習と体験を通じて教える。 ・ 高嶺ルビーの栽培 = 栽培地一面に赤いソバの花を咲かせる。 栽培地を数か所に増やし、種の収穫を多くする。 		
活動の成果 <p>今年、コロナ感染状況も下火になり子供たちに米づくり体験を実作業で手植え、手刈りを体験させることが無事できた。</p> <p>水のはいった水田に恐るおそる入る子、はしゃいでいる子、3年ぶりの子供たちの歓声が聞かれてうれしいひと時になった。</p> <p>高嶺ルビーの栽培は、栽培地一面に赤いソバの花を咲かせることができた。ただ、種を取る収穫については十分な成果を得られなかった。</p>		
課題 <p>今年もできなかった「たかねふれあいまつり」を実施し、成功させるためにも米づくりで「餅米」の収穫量を増やすことが必要。</p> <p>高嶺ルビー(そばの花)栽培・観賞では、種をたくさん収穫できるようにしなくてはいけない。自立した栽培地と栽培量の確保が前提となる。</p>		
今後の取組 <p>栽培米を変更したい思いがあると学校側から出ているが、目的は「たかねふるさとまつり」で餅及びマスヅカ汁を振舞い、みんなで地元の地産品を知り、子供たちに将来のことを知ってもらい、愛して欲しい場としたい。との目的にしっかりと向き合う継続的な活動にしていきたいと思う。</p>		

活動の様子

◎田植え体験



◎稲刈り体験

今年は子供たちによる (歓声がうれしい)
田植えも手植え・稲刈りも手刈りの体験できました



稲架かけ作業



脱穀作業



赤いソバの花「高嶺ルビー」
満開の花が一面に咲く栽培観賞



わくわく事業活動報告

団体名 元氣の出る森づくりの会	
事業名 地域の人たちで、空き地を利活用できる環境整備	
会員数 32名	主な活動場所 鴛鴨町上高根地域
事業費(補助額) 268,896円 (242,000円) 【主な使途】 業者による高木剪定、燃料、肥料、花苗、保険料、飲料水等	
事業目的 ① 高根地区に子どもが遊べる広場、地域の皆さんが集えるコミュニティの場所づくり、及び健康づくりに向けた安全に散策できる環境整備を推進する ② 環境整備の一環として花壇を拡充し、「花いっぱい運動」を展開することで、散策しながら景観を楽しめるやすらぎの場所にする	
主な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・広さ5,200㎡のうっそうとした、雑木林を整備してきた ・散策道の整備・エマファルトを敷き足元を安定化する ・散策道に手摺りの設置・子ども、お年寄りも安全に歩けるようにする ・花苗などを植え付け、景観を向上させて楽しみながら散策できるようにする (季節に応じた花苗の植栽と花壇の拡張活動) 	
活動の成果 <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通してボランティアメンバー相互のコミュニケーションが向上してきた ・子ども・お年寄りも自由に安全に散策できる環境整備を推進できた ・近隣の子ども達も広場で遊ぶ光景や、散歩する人が増えてきた ・地域の方から環境整備用具の提供あり(一輪車・ノコギリ・剪定ハサミ他) 	
課題 <ul style="list-style-type: none"> ・32名のボランティアメンバーの平均年齢77歳以上と高齢のため、体力的に無理がきかない。又今後も環境を維持管理するためにも、後進の育成が直近の重要課題です ・ボランティアメンバーの輪がなかなか広がらない 	
今後の取組(活動内容) <ol style="list-style-type: none"> 1、 環境の維持管理・樹木の剪定、草刈り、草花の肥料等による土壌づくり・こまめな水やりなど 2、 花壇の整備・拡張と季節に応じた花苗の植栽 3、 花と緑のまちづくり講座からの講師派遣による勉強会の開催 	

活動の様子

芝桜園の拡張と株分け作業



芝桜園はちょっとした名所になりました



花壇周りの整備活動



花壇の花手入れ活動



借りた芝刈り機で鬼芝整備



花苗の植え付け作業



「花と緑のまちづくり講座」からの 講師派遣による花の勉強会開催



「元気の出る森」の東屋(休憩所)周辺は 季節に応じた花でいっぱいです



わくわく事業活動報告

団体名 渡刈町サポート会	
事業名 環境ふれあいサポート総括事業	
会員数 52名	主な活動場所 渡刈町地内
事業費（補助額） 593,272円（458,000円） 【主な用途】鳥狩塚の伐採委託費、燃料、肥料、花の種、軍手、作業のお茶 など	
事業目的 ①学童通学路付近の草刈り及びゴミ拾いをして、安全、安心、クリーンな登下校通学路とする。 ②ゴミステーション及び花畑（元ゲートボール場）付近の草刈り等により、環境美化に努める。 ③子供の自然に触れ合う遊びの場が少なくなったため、「ビオトープ」と花畑付近一帯等の整備により、子供たちを始めとした地域の方々の“憩いの場所”として自然環境を保全・創造して次世代に継承する。 ④アルミ缶回収・売却により、団体負担金の補填継続をする。 ⑤鳥狩塚の整備作業をする。	
主な活動内容 ①『エコ堆肥でふれあい花畑』の継続。 ②学童通学路付近、ゴミステーション及び花畑付近の草刈りとゴミ拾いをする。 ③鳥狩塚の整備作業をする。	
活動の成果 ※事業実施による地域で課題解決の効果、工夫した点 ①「クリーンサポート」事業は、年末の渡刈町役員による年末特別美化活動への協力参加まで含めて、20回（1月31日現在）の活動実施によりサポート会の活動が少しずつではあるが町民に周知されてきた。 通学路で見守り隊活動中のゴミ拾いは、他地区も同様のゴミ拾い活動に参加して頂き、今後一層の広がりを期待したい。 ②「エコ堆肥でふれあい花畑」事業は、区民会館北隣の広場を借用して花畑作業（ひまわり、菜の花の種まき）とエコ堆肥作業の実施により、環境美化での回収した刈り取った草のエコ堆肥化活用等で町民へのリサイクルの意識に貢献できた。 ③「アルミ缶回収活動」は、アルミ缶つぶし機によりアルミ缶の体積を十分削減でき、軽トラでの運搬が効率的にでき、活動資金の不足金に貢献できた。 ④鳥狩塚の木の伐採を業者に委託し、雑木林の間伐は完了したが、伐採後の回収撤去に想定以上の時間がかかり、伐採木は近隣の「暖炉の会」に再利用を依頼して有効活用及び効率撤去ができた。今後は散策道の整備に取り組む。	
課題 ※大変だったことや反省点 ①エコ堆肥でふれあい花畑事業の雑草対策に時間がかかり、作業の増員割振り対応が必要。 ②鳥狩塚の整備に手間がかかり、当初計画を3年計画するも1年間の延長対応を申請予定。 ③会員の高齢化により、参加会員数の伸び悩み。	
今後の取組 ※今後の活動予定や抱負など ①「エコ堆肥でふれあい花畑」を継続する。 ②学童通学路付近、ゴミステーション及び花畑付近の草刈り及びゴミ拾いをする。 ③アルミ缶回収を継続する。 ④鳥狩塚整備作業を継続する。⇒散策道の整備、掲示案内板の設置、花木の育成により「憩いの場」として、整備作業をする。	

活動の様子

通学路の草刈り



花畑の草刈り



アルミ缶つぶし



ちびっこ広場の草刈り



サイロ更新



ピオトープ周辺



鳥狩塚の整備



鳥狩塚での業者による伐採作業



わくわく事業活動報告

団体名 豊栄町一区自治区 区誌編纂委員会	
事業名 豊栄町一区自治区 区誌編纂事業	
会員数 13名	主な活動場所 豊栄町一区自治区 区民会館
事業費（補助額） 1,128,204円（1,000,000円） 【主な用途】 印刷製本費（区誌…A4版・カラー刷り・158ページ・印刷1000部のうち補助対象849部）	
事業目的 豊栄町一区の現状と歩みを区誌としてまとめ、理解してもらうことにより、区への愛着心を育み、行事等の参画意識や隣り近所が助け合う「近助」の精神を高め、自治区の末永い安定と発展に繋げていく。	
主な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・区誌委員会（4回）事務局会議（7回）開催…会場：区民会館ホール又は談話室 ・区誌原稿の作成・校正、区誌配布（区世帯・区誌協力者・関係機関等） ・10月20日区誌の公開（自治区HPに掲載、閲覧できるようにした。） ・区誌活用行事の開催 <ul style="list-style-type: none"> 10月15日「ふじやぶ100年の歩み」を語り・聞く会（参加者70名） 11月12日居住開始100年・自治区発足75周年記念式典（出席者100名） 応募作品・歴史的資料の展示及び同資料をふじやぶカプセルに投函 （カプセルは25年後に開錠予定） 12月10日「わが町観て学び隊」（参加者50名） 訪問先：豊田神明社、藤藪弘法大師、トヨタ生協本部事務所、顕明寺 12月20日 豊田市郷土史研究会主催の講演会にて区誌作成についてと題し 講演（出席者20名）… 講師：区誌編纂委員会 片桐委員長 	
活動の成果 区誌配付により豊栄町一区の現状と成り立ちが区民に伝わり、地域の活性化・発展に繋がる。	
課題 区誌を通じ、区民の皆さんが自治区に関心を示し、地域活動への参画意識を高めていくこと。	
今後の取組 自治区はじめ区内の団体（豊栄第一長寿会・藤藪子ども会・木遣り保存会・豊田神明社など）に対して区誌活用を働きかける。	

活動写真

○10月15日 「ふじやぶ100年の歩み」を語り・聞く会



片桐委員長による区誌講話



古老取材協力者から聞く



歴史的資料展示

○11月12日 居住開始100年・自治区発足75周年記念式典



開会アトラクション



豊田市上郷支所長挨拶
※後方の箱はふじやぶカプセル



絵画応募作品展示

○12月10日 「わが町観て学び隊」



豊田神明社



藤藪弘法大師



トヨタ生協本部事務所

○12月20日 講演会…区誌作成について説明



主催：豊田市郷土史研究会
会場：市民活動センター
講師…区誌編纂委員会 片桐委員長



顕明寺

わくわく事業活動報告

団体名		おしかも ほたるの会		
事業名				蛍を養殖し、自然環境の大切さを学ぶ
会員数	27名	主な活動場所	鴛鴨町内（ほたるの郷）	
事業費(補助額)		197,390円（177,000円）		
【主な使途】 ほたるの幼虫 など				
事業目的 <ul style="list-style-type: none"> ・ 蛍が自然発生するための環境づくり ・ 地域の子供たちに豊かな自然を残す 				
主な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 蛍の養殖地及び馬場川の環境の維持管理 ・ 蛍の幼虫及び餌のカワニナの養殖 ・ 先進地（御船町、和合町）視察 ・ 寿恵野小2年生の地域学習の支援（蛍の生態、飼育等の説明） ・ 自治区掲示板に蛍の飛翔状況を告示 				
活動の成果 <ul style="list-style-type: none"> ・ ホタルの飛翔数：最高49匹（昨年87匹） 幼虫放流数7,510匹（数mm）・・・内300匹（約20mm）購入 （昨年13,030匹）・・・夏季の猛暑が原因と推測 飛翔期間：5月10日～6月22日 ・ 鑑賞者数：568人 ・ 小学校の地域学習の成果発表会の招待（3名参加） 				
課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲンジホタル飼育に必要な清流（湧水）が枯渇しかねない状態 ・ 会員高齢化及び後継若者の入会が難しい ・ 蛍が自然発生する環境づくりの知識不足（当地区の環境の適否） 				
今後の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 清流育ちのゲンジホタルに対し、ヘイケボタルは池・水田地の生育に適しているとの情報により、ヘイケへの変更を検討 岡崎・阿久比地域への視察 ・ ヘイケは雑食であり管理しやすい（飼育水槽の発生藻除去作業の軽減 等） 				

令和5年度 「ほたるの会」活動状況



3/18 ほたるの幼虫の放流



4/9 和合町へ自然発生の幼虫調査



4/29 飛翔地周辺の整備



8/19 「ほたるの里」水槽等



9/28 小学2年生 見学・説明



11/22 見学研修の発表会へ招待

令和5年度 わくわく事業活動報告

団体名	竹の会		
事業名	地域竹やぶの環境整備		
会員数	40名	主な活動場所	豊田市鷺鴨町地内 馬場川沿いの竹林(延べ面積(9500㎡))
事業費(補助額)	167,147円	(150,000円)	
【主な使途】燃料代：発電機<電気工具・丸ノコ電源>、草刈り機、チェーンソー、軽トラ、食糧費：お茶代など			
事業目的			
<ul style="list-style-type: none"> ①地域竹やぶの環境整備により生活環境の改善、景観づくり、自然環境保全の意識向上に貢献。 ②会員の余暇の利用による健康保持及び地域の人達とのふれあいと子ども達への支援と交流。 ③竹炭、竹酸酢、竹細工づくり、枯れ竹と間伐竹の焼却処分時に竹炭にして土壌改良として使用。 ④竹やぶ内の不法投棄処理による清潔な環境づくり、不法投棄撲滅に向けた活動。 			
主な活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> ①竹の間伐、竹炭づくり、草刈り、土壌改良用の竹炭づくり、会員親睦ミニ門松づくり。 ②小学校のビオトープ整備と稲干しのハザ掛けづくり、こども園、小学校への七夕の竹提供。 ③間伐(4～6月にタケノコの状態で処分) 成長すると処分に工数大(作業性向上、労力低減)。 ④恒例のこども園の竹馬づくり支援、自治区総会記念品の竹炭づくりは実施予定。 ⑤不法投棄回収清掃と分別処分 3回(区民会館に搬送、自治区から清掃工場に依頼してもらい処分) 			
活動の成果			
<ul style="list-style-type: none"> ①4月～6月にかけて、整備済みの土手に生えたタケノコ、細い竹を鎌や草刈機で処分を毎回実施、竹林内のタケノコ間伐、細い若竹は刈倒しにより作業性の向上を図った。 ②竹やぶへの不法投棄の減少(テレビ1台、収納ケース、寝具類 など) ③コロナ禍での活動であったが車道・通学路・用水路周辺などの整備により地域貢献が出来た。 			
課題			
<ul style="list-style-type: none"> ①間伐、草刈りにより整備後の維持管理が今後は大半の作業になるが、新規会員になる人がいない、現会員も高齢化しているので活動を続けて行けるかが最大課題。 ②新規会員の獲得が難しい(自治区総会等で声かけしても実績なし) ③不法投棄看板の効果なし、区長、副区長の現場視察、自治区だよりで全戸に回覧、不法投棄防止の呼びかけと、監視カメラの依頼設置後もまだ不法投棄がある。 			
今後の取り組み			
<ul style="list-style-type: none"> ①間伐と草刈りに重点を置き更なる環境維持活動を進め、地域の安全、安心、憩いの場を目指す。 ②新規会員の募集、今後も「自治区だより」に掲載の依頼と現会員による声かけの実施。 ③会員による地域活動への積極参加(こども園、小学校行事、自治区行事等)。 			

竹の会 (令和5年度 活動内容)

2024. 1. 30

①竹やぶ周辺整備

通学路・車道・農道、農業用水周辺の整備 (不要の若竹間伐、雑草処理 他)



①-2 自治区主催くふれあいウォーク支援>

雨天の中:参加者210名



孟宗竹林参観コース & 花壇の整備



タケノコも沢山出ています!

②-1 竹の活用

自治区イベントに竹細工提供



②-2 竹の活用

ミニ門松作り(地域住民も参加)



②-3 こども園、竹馬作りの支援

竹の会、活動紹介

竹馬作りのお手伝い!



②-4 竹の活用

竹炭づくり(定期総会で配布)

R5.3.19 配布の様子



竹炭パック詰め350個製作

③ 竹やぶ内の不法投棄回収と清掃(3回)



わくわく事業活動報告

団体名	ふるさと訪問末野原の会		
事業名	末野原歴史双六の作製		
会員数	13名	主な活動場所	末野原交流館
事業費(補助額)	21,526円(19,000円)		
【主な使途】	紙、コピー、プリンターインク、会場費		
事業目的	<ol style="list-style-type: none">1, 地域の皆さんに、末野原の歴史をわかりやすく伝える。2, 双六遊びを通じて、末野原地域により親しみを持つ。3, 子供たちが地域の歴史に関心を持つ機会とする。		
主な活動内容	上記目的に沿った歴史双六を完成させる作業を行った。		
活動の成果	10回以上の作製作業、検討会、学習会、歴史講座開催を経て印刷原稿を完成させ、業者より完成品納品のスケジュールが示され、次年度の活動が展望できた。		
課題	現状の手作り印刷原稿では文字やイラストの不鮮明が危惧される。歴史を学ぶ資料としては品質を上げる必要があり、専門家によるデータ校正が必要。このため、納期を次年度に繰り延べしたため、校正内容を逐次確認する作業が残された。		
今後の取組	双六の完成と普及活動を令和6年度事業に繰り延べした。 5月以降に普及活動に取り組むこととし、学校行事、地域などで行う歴史講座のツールとして活用する。		

活動の様子

双六作製作業



2次案検討会 2023/6



3次案検討会 2023/12



4次案検討会 2024/1



歴史講座講師・学習活動



三二歴史講座 (2023/11/5)



末野原歴史散歩・渡川編

わくわく事業活動報告

団体名		豊栄町一区まちづくりの会	
事業名		ふれあいグランドゴルフ事業	
会員数	12名	主な活動場所	豊栄町一区自治区 ふれあい広場
事業費(補助額)		110,325円 (99,000円)	
【主な使途】 グランドゴルフ備品購入・チラシ・他コピー代			
事業目的 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の運動不足解消 ・となり近所、住民同士のコミュニケーション向上 ・スポーツを全世代(親、子、孫)で楽しめる場所を提供する。 上記により、健康寿命向上、まちの活性化を図る。 			
主な活動内容 <p><グランドゴルフを気軽に楽しめる環境づくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グランドゴルフ体験会の開催 (ルール/マナー講習・実践講習) ・練習会の開催呼びかけ 毎月2回(水曜日)2ヶ月毎、自治区回覧版に案内掲示 ・年3回の区民大会開催を計画、秋、冬の2回実施 			
活動の成果 <p><参加者の声></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで外に出て運動する事が無かったが、週一の練習が楽しい。 ・同じ組内の人でも話すことが無く、孤独を感じていたが、グランドゴルフを通じてコミュニケーションが図れ、練習が楽しい。 ・一人暮らしの方は、話し相手が出来、グランドゴルフの練習が楽しみになっている。 			
課題 <ul style="list-style-type: none"> ・グランドゴルフは高齢者のスポーツというイメージが強く、自治区回覧板を使って参加者募集をしても思うように人が集まらない。(特に若い親子) 			
今後の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・自治区回覧版・自治区ホームページ等を活用して参加呼びかけをしていきたい。 ・子ども会のレクリエーションのゲームに入れてもらうようお願いする 			

活動の様子

令和6年2月作成

<グランドゴルフを気軽に楽しめる環境づくり>

グランドゴルフ道具セット

事務所開館中いつでも利用可

ホール旗はパイプ倉庫保管



モニター使用によるルール・マナー講習

R5.5.28

スポーツ推進員による実践講習



練習会は毎週水曜日

9:30～11:00 自由参加
平日は、区民会館開館中
自由に利用できる

練習後の集合写真

R6.1.10

練習中の1コマ



2024/01/10

わくわく事業活動報告

団体名	永覚新町お助け隊					
事業名	高齢者世帯への支え合い取組事業					
会員数	20名	主な活動場所	永覚新町自治区			
事業費(補助額)	283,160円 (176,000円)					
【主な使途】	活動備品倉庫(イナバFS-2218S一般型)、傾聴ランチ会など					
事業目的	<p>自治区会員の後期高齢者を始め、日常生活で困っている事に対して、支え合いや助け合いができる地域づくりを目指す。高齢化率 23.3% (2023/12/1 現在)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> 1. 高齢者夫婦世帯 2. ひとり暮らし登録者の方 3. 身体に障がいのある人 </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle; padding: 0 10px;">}</td> <td style="vertical-align: middle;">対象者</td> </tr> </table>			<ul style="list-style-type: none"> 1. 高齢者夫婦世帯 2. ひとり暮らし登録者の方 3. 身体に障がいのある人 	}	対象者
<ul style="list-style-type: none"> 1. 高齢者夫婦世帯 2. ひとり暮らし登録者の方 3. 身体に障がいのある人 	}	対象者				
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ①後期高齢者夫婦世帯を初め、御用聞き活動を3ブロック分担制活動(2回/年) ②ボランティア会員に対して、「刈草作業と庭木(樹木)剪定講座」受講(4回目) 現地現物での講師による作業手順を確認及び重要ポイントの把握。 ③高齢者夫婦世帯、ひとり暮らし登録者宅へのお助け隊活動案内チラシ配布及び広報とよた配布時に自治区内回覧とボランティア会員の募集活動(4回/年) ④ボランティア会員と参加者による「傾聴ランチ会」を定期開催(毎月一回寄り添い活動) 					
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ①ボランティア会員と対象者とが顔見知り関係となってきた。 お助け隊活動のキックオフ(関係部署交流会)で会員間との意思統一が図れた。 気に掛けていた人への御用聞き訪問を重ねる事で気軽に困り事を確認できた。 ②お助け隊会員の「庭木剪定作業」技能レベル向上した。 (庭木のあじさい、マンリョウ、しだれ梅、松の枝剪定の仕方など) 参加者の日常生活での花木の育て方等の質疑が多くあり有意義な講座となった。 ③後期高齢者のひとり暮らし者3名(男2、女1)の庭木剪定、家周り草刈作業により、不要物が撤去できた。トイレ使用後の水が止まらない困り事緊急対応。 ④「傾聴ランチ会」で困り事を知れた。ダンボールコンポスト講座参加、フラトレで楽しみながら体力向上と会員と一緒に料理を作ったの食事会は、笑顔いっぱい。 					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・困り事の相談件数が増えてこない。(お助け隊の出動回数4回で、依頼が単発) ・すぐ役立つ「傾聴講座」の修了者が、3名でまだ少ない。 ・引きこもり一人暮らし高齢者やごみ出し困難者への対応が必要になってきた。 					
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしの対象者に対して、年間を通した寄り添い活動とする。 (リピーターを核として新規依頼者への拡大を図る)お助け作業の事例を増やす。 ・ボランティア会員による対象者への心のケアとして、「傾聴ランチ会」の年間活動を継続する。 					

活動の様子



上 剪定講座の様子と庭木剪定作業の講師による指導

下 ボランティアメンバーによる高齢者宅に訪問しての草刈り活動



草刈り作業の前と後、右はお助け隊の皆さん

お助け隊寄り添い活動「傾聴ランチ会」 毎月第2月曜日に開催
おじいちゃんおばあちゃん、お話をしながら【ランチ】しましょう



右 11月から始めたフラトレの様子

22年12月より第1回開催（参加者2名お助け隊4名）
毎回テーマを決め、参加者皆さんで調理後はランチ会です



右 生ごみ削減講座での
コンポストフォーロー会



わくわく事業活動報告

団体名		実りの会	
事業名		高齢者向けかるたを活用した地域交流	
会員数	8名	主な活動場所	末野原地区内
事業費(補助額)		417,500円 (375,000円)	
【主な使途】 かるた製作・印刷、インク、鉛筆 など			
事業目的 <ul style="list-style-type: none"> ・「かるた」を通じて地域高齢者の仲間づくりに役立たせる ・脳活（読む、書く、取る、考える等）、健康づくり（外出、会話）に活用する 			
主な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の「あるある行動」を観察・文章化して「読み札」の製作 ・オリジナル「絵札」の製作（会員全員での色付け） ・完成途中の試作品にて「かるた会」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ：会員同志：区民祭の一行事：高齢者クラブの集会：寺院の寄り合い 			
活動の成果 <ul style="list-style-type: none"> ・数回の試作品での「かるた会」ではあったが、好評を得た ・「絵札」の裏書（説明書き）を題材に「井戸端会議」的に盛り上がる 			
課題（考えられること） <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の団体（自治区、高齢者クラブ、介護施設 等）の支援の方法 ・「あるあるかるた」の「一般かるた」との違いの説明、普及の仕方 			
今後の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・上記団体への普及（説明と実践） ・日々「高齢者あるある行動」の観察と読み札の更新 			

令和5年度わくわく事業「実りの会」活動の様子

10/10 「実りの会」会員同志の試行



10/14 寺院の講の場での「あるあるかるた」



10/22 自治区「ワイワイ祭り」での試行



かるた取り



絵札のイラストでぬりえ

11/21 サロン「よっといでん」での試行



24.1/13 安福寺の定例集会時に試行



あるあるかるたの遊び方

- ①取札（絵札）を表向きにランダムに並べます。
- ②『読み札』読み手を決めます。
- ③読み手は、ゆっくり、みんなに聞こえる声で読みます。
- ④絵札を取った人は、裏にある『解説文』を読んでください。みんなで内容を共有しましょう。私も、そんなこと『あるある』ですね。
- ⑤全部の絵札を取り終わるまで繰り返します。

注：枚数を競い合うのではなく、取った札を話題にして話し合い楽しく遊んでください。（読み札裏の解説文を活用）



読み札

健康は
笑って楽しく
ストレス解消
かしよう



け

健康を維持するには、楽しく
笑顔忘れずに暮らすことです。
好きなことをやったり、気分を
変えて、楽しく過ごしましょう。

け

絵札（表裏）

わくわく事業活動報告

団体名 宗心洞公園を守る会	
事業名 宗心洞公園の芝生およびその他環境の保全事業	
会員数 13名	主な活動場所 豊田市 御幸本町 地域
事業費（補助額） 791,110円 (711,000円)	
【主な用途】 芝刈機用倉庫、集草機、燃料、トライ用冬芝・肥料・砂	
事業目的 ① 芝生を中心とした宗心洞公園の環境を保全し、地域のすべての世代が快適に利用できるようにする ② 地域住民が主体的に取り組むことによって、地域のニーズに合致した公園とし、また地域の連携を強化する。 ③ 芝生広場を利用したイベント等を行い、地域住民のふれあいの機会を提供する	
主な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・乗用芝刈り機の倉庫の整備 ・集草機の導入 ・芝刈り、雑草除去 ・冬芝トライ評価 	
活動の成果 <ul style="list-style-type: none"> ・従来芝刈機は会員宅車庫に保管しトラックにて運搬していたため、保管する会員の予定調整や運搬要員の確保が必要であったが、倉庫の導入により運搬が不要となった。また刈込作業の3倍以上の工数がかかっていた芝・草の回収も、集草機の導入により大幅に効率化できた。その結果、2名程度での作業が可能となり、実施頻度が上がり、環境を常に快適に維持することができるようになった。 ・公園の一部にて、冬芝の育成（オーバーシーディング）のトライを実施、サッチング・肥料散布・種子蒔き・目砂掛けを実施後、1か月程度の養生期間を設け立ち入り禁止とた以外は特別な作業をしなかったにも拘らず、若干ムラがあるものの美しい緑の芝を育成できることが確認できた。 	
課題 <ul style="list-style-type: none"> ・冬芝養生中は公園の使用に制限をかけることになるため、できるだけ養生期間を減らすまたはなくすことの検討が必要。 ・自治区の区議員会での説明会等を実施したが、新たに活動に参加したいという住民の方が出てきていないため、イベント等の実施によって活動の周知を図る必要がある 	
今後の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・作業ローテーション表等の作成による計画的・安定的作業ができる仕組みづくり ・自治区と連携した、公園の環境を活かしたイベントの企画・実行 ・他地域のベンチマーク、勉強会等による活動のレベルアップ 	

活動の様子



芝刈機による芝刈り作業



芝刈後の草収集作業



倉庫設置工事



設置された倉庫



集草機の調整中



冬芝種まき前のサッチング作業



冬芝トライエリア養生柵設置作業



冬芝トライエリアの様子



オーバー
シード
実施部 未実施部

オーバーシーディングの効果

**令和5年度 上郷地区・末野原地区
わくわく事業 活動報告書**

発行/豊田市 上郷支所